

○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

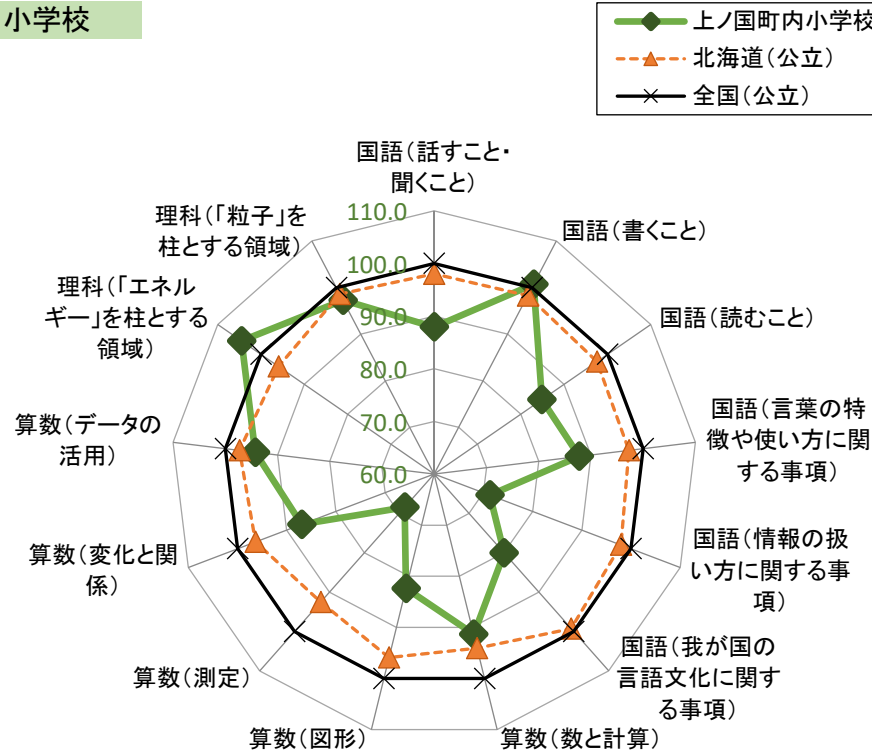
- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

【平均正答率・平均IRTスコア】

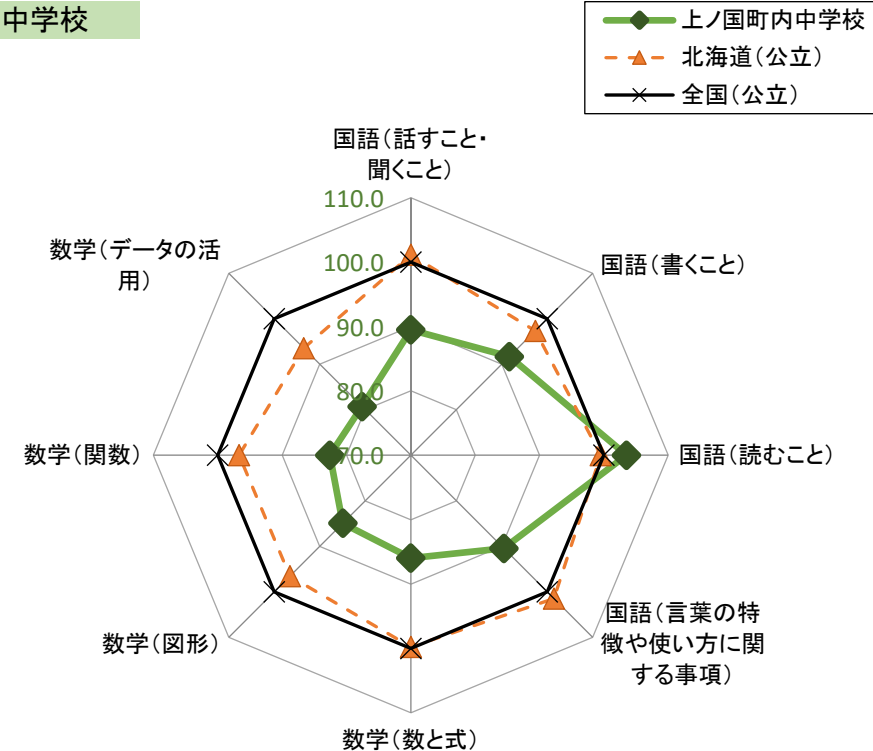
※中学校理科は平均IRTスコア

	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
上ノ国町	59	52	58	51	40	487
北海道(公立)	65.4	55.2	56.3	54.0	46.7	505
全国(公立)	66.8	58	57.1	54.3	48.3	503

小学校



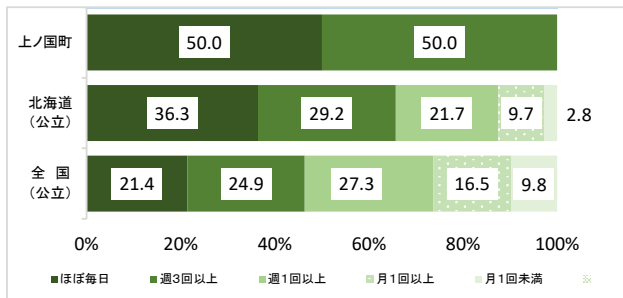
中学校



○ 質問調査の状況

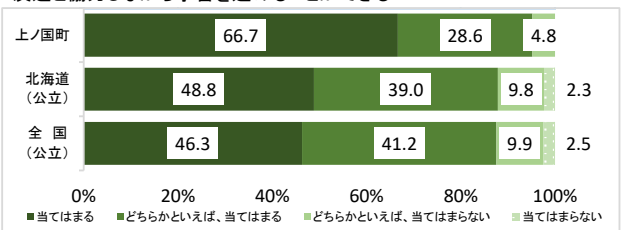
小学校 ＜学校質問＞

児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



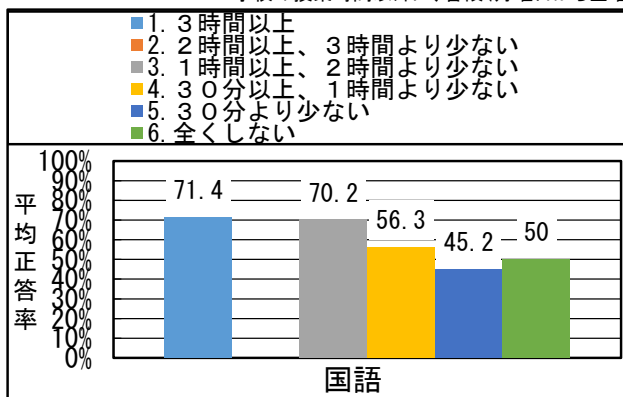
小学校 ＜児童質問＞

5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することで、友達と協力しながら学習を進めることができる



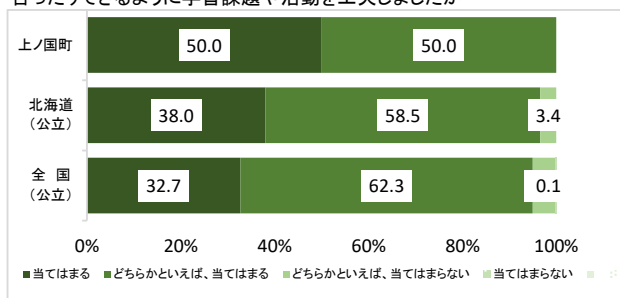
小学校 ＜児童質問＞

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



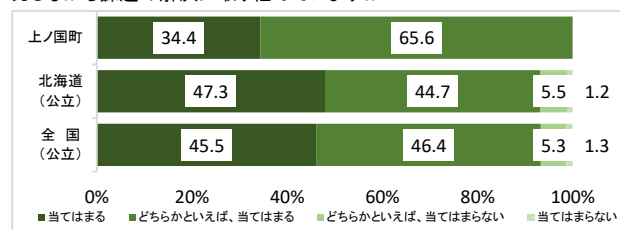
中学校 ＜学校質問＞

前年度までに、学習指導において、生徒が、それぞれのよさを生かしなが、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか



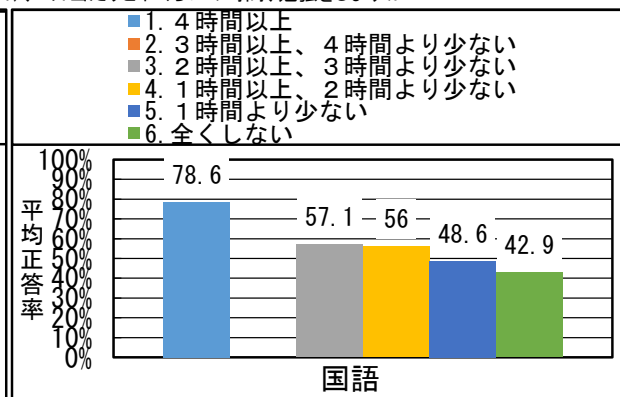
中学校 ＜生徒質問＞

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



中学校 ＜生徒質問＞

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



○ 調査結果の分析

- 小学校において、児童同士がやりとりする場面で、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を週に3回以上使用したことにより、「ICT機器を活用することで、友達と協力しながら学習を進めることができる」と肯定的に回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

- 中学校において、前年度までに、学習指導において、生徒が、それぞれのよさを生かしなが、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫したことにより、「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」と肯定的に回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

- 小学校・中学校において、平均正答率が全道及び全国を下回っている児童生徒は、学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますかという質問に、1時間未満と回答しており、授業以外の学習時間が少ないことが要因の一つとして考えられる。

＜今後の改善方策＞

- ICT端末を効果的に活用した授業改善の推進と家庭学習の習慣化を図る取組の推進
- 調査問題やチャレンジテストの活用及び習熟度別・少人数指導やTT指導の実践
- 保育所、小学校、中学校、高等学校が連携する「学びの共同体」による幼児、児童、生徒の交流及び授業実践交流の実施